

24
25



 U-NEXT

 Premier
League

REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

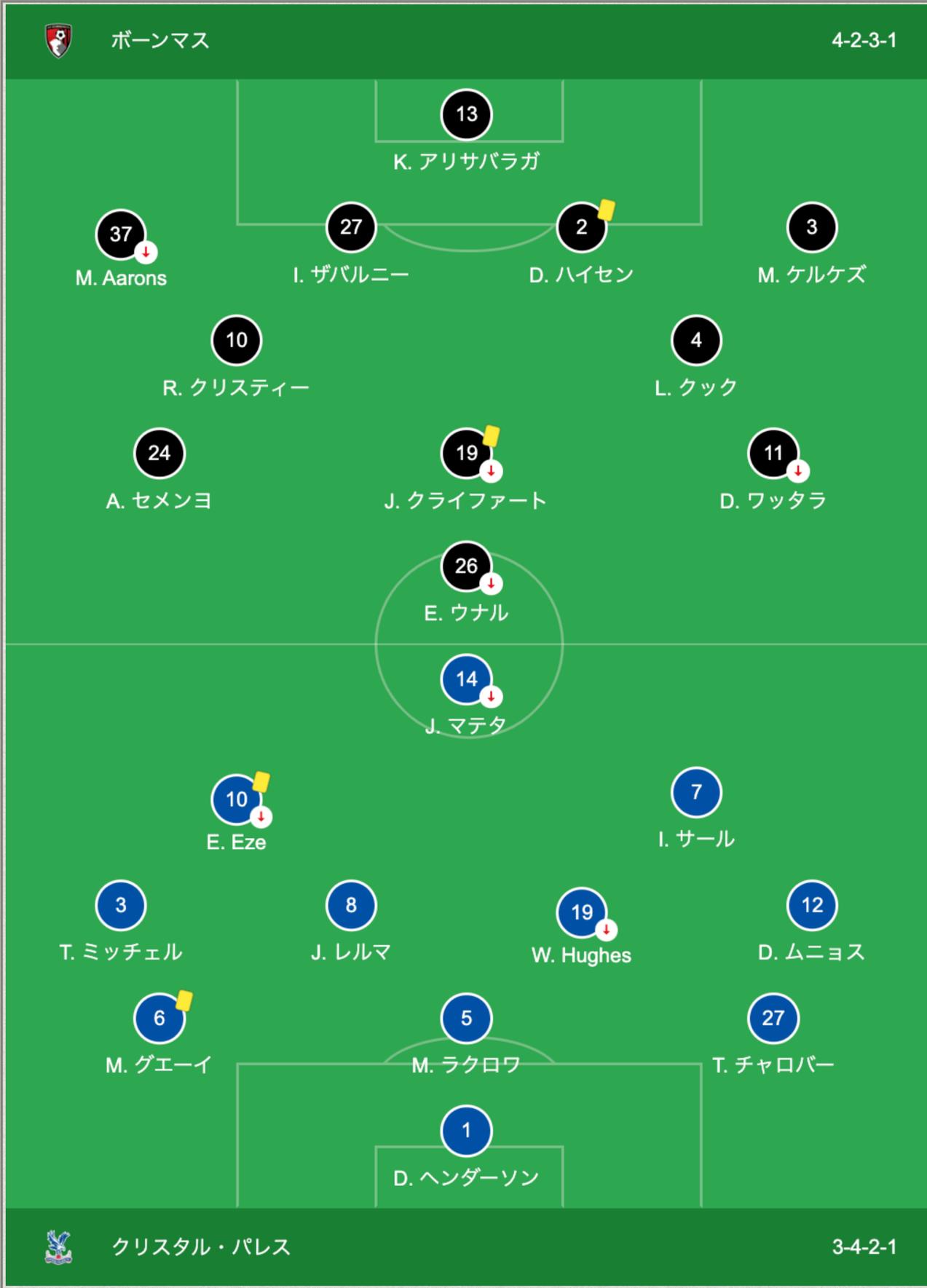
U-NEXT プレミアリーグ 【18】 1227_ボーンマスVSクリスタル・パレス

DATE

2024/12/27

NAME

田中裕介



プレミアリーグ・今日 試合終了

0
-
0

ボーンマス
クリスタル・パレス

ボーンマス	サブメンバー	クリスタル・パレス
7 デイヴィッド・ブルックス ↑		↑ 鎌田大地 18
9 エヴァニウソン ↑		↑ シェイク・ドゥクレ 28
12 タイラー・アダムス ↑		↑ ジャスティン・デベニー 55
29 フィリップ・ピリング ↑		ジェフ・シュルupp 15
23 ジェームズ・ヒル		ナサニエル・クライン 17
42 マーク・トラヴァース		クリス・リチャーズ 26
47 ベンジャミン・ジョージ・ウィン...		マット・ターナー 30
48 マックスウェル・キンゼイ・ウェ...		カレブ・クポルハ 58
50 アーチー・アンドリュー・フィリ...		Asher Chris Ofega Agbinone 64

ボーンマス	チーム別データ	クリスタル・パレス
18	シュート	10
4	枠内シュート	4
53%	ボール支配率	47%
451	パス	430
82%	パス成功率	77%
13	ファウル	12
2	イエローカード	2
0	レッドカード	0
1	オフサイド	1
5	コーナーキック	2

MATCH REPORT

SCORE 0-0 (1st 0-0 2nd 0-0)

TOP3 point

- ・ 狙いは両チームともに奪ってからの速い攻撃
- ・ 好調ボーンマスはフィニッシュに課題
- ・ パレスは前節大敗の守備再建に成功

Challenges to the Next

- ・ 停滞時の相手陣地への侵入策提示
- ・ SBのオーバーラップ時のPA侵入策提示（ケルケズ）
- ・ GKのビッグセーブの言語化（ケパ）

【ボーンマス】

システムは4-2-3-1。

ベースからの変更点とすると右SBアーロンズ、トップにエネス・ユナルが入った。立ち上がりはボールを握り相手陣地に侵入を試みる。チームの強みであるミドルサードでのボール奪取からの縦に速い攻撃も並行して狙いながら試合を進めていった。

特に左SBケルケズはインサイド・アウトサイドの使い分けがうまくレシーバーとして機能。

相手右OMFサールの背後のスペースをうまく活用して左サイドを活性化した。

右サイドはCBザバルニーの楔の縦パスがスイッチとなり、

そこからスピードアップする形が何度かあった。

ザバルニーは試合を通して守備・ビルドアップで安定感があった。

後半は選手交代を機にスピードアップ。

アダムズとエヴァニウソンを入れてクックを右SBへ。

これにより右サイドの攻撃もスムーズになりクックからの前線の配給も増えた。

ゴール前に迫るシーンは多かったが最後までパレスの守備を崩せずスコアレスドロー。負けなしは継続したもののフィニッシュの精度には課題を残す展開となった。

【クリスタル・パレス】

システムは5-2-3。現状のベストの布陣でスタート。

好調サールとエゼの復帰で2列目に期待がかかる。

アーセナル戦でも機能したハイプレスとミドルサードでの奪取からの速い攻撃を狙う。

ボールを失っても相手陣地で奪い返すという意識とクロス時に入る枚数をかける意識がシーズン序盤戦に比べて全体に浸透している印象だった。守備ではゴール前に迫られるシーンはあったがラクロワを中心に粘り強く対応。

後半も同様の戦いを展開。前節大量失点したことを踏まえて

まずは無失点で試合を終えるというタスクを意識した試合運び。

両ウイングバックもどちらかという守備に比重を置いているように見えた。

前線に入ったマテタと相手両CBのマッチアップは非常に激しく

見応えがあった。何度かマテタが引いてできたスペースにサールが裏に走り込むシーンは期待を感じさせた。

AWAYでのクリーンシートで掴んだ勝ち点1は次に繋がる試合だった。

MVPはゴール前で壁となったCBラクロワ。